

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果について

京都市立朱雀中学校

5月27日(木)に中学校3年生を対象に「全国学力・学習状況調査」が実施され、このほど結果がまとまりました。この調査では、国語、数学に関する調査と同時に、家庭での過ごし方や学習時間を問う調査も実施されております。生活習慣と学力の関係など、本校の生徒たちの状況や傾向をお伝えします。

総合結果(国語・数学)

国語・数学とも、全国平均および京都府の平均を大きく上回っています。進路をひかえている3年生は、基本的な知識を復習してきちんと身につけ、それをもとに考えて答えを導き出す思考力を伸ばして、力をつけてほしいと思います。

<国語科からのアドバイス>

- ・問1 話し合いの場面での、発言の意図を捉える問題です。問題にもある一線部だけを見るのではなく、一線部の前後、今までの文章の流れも含めて考える必要があります。
- ・問3 文学的文章を読む問題では、文章中で全体と部分の関係に着目することと合わせて、登場人物の言動や行動の意味にも着目することが大切です。自分の考えを表現する問題では、文章に表れているものの見方や考え方を明確にし、そのうえで想像して書くことが大切です。また、選択式の問題では、何となく答えるのではなく、一つ一つの選択肢を吟味し、消去法で選択肢を絞っていく必要があります。
言葉の一語一語にはそれぞれ意味があり、使い方や状況によって変化します。文章を正しく捉えるためには、語彙力を身に付けるのはもちろんのこと、言葉や物事を部分的に捉えるのではなく、文章全体のつながりや流れを意識することが大切です。

<数学科からのアドバイス>

今回の全国学力学習状況調査の結果を分析してみると、説明をする問題に苦戦していた人や1・2年生の学習内容を忘れている人が見受けられました。自分が苦手とする内容に関しては、しっかりと復習し、次に生かせるようにしておきましょう。

・問5 与えられたデータから中央値を求める問題

問題を見てみると、記録の個数が10個で偶数個のデータであることが分かります。この場合少ない方から5番目又は6番目の数を足して2で割ると中央値を求めるることができます。誤答として多かったのは52個や53個、55個と答えているものでした。最小値や最大値、平均値、最頻値の言葉の意味が混同しないように覚え直しておきましょう。

・問6(2) 事柄が成り立つ理由を説明する問題

記述の内容を分析してみると、 $4(n+3)$ か $4n+12$ の形にしてから4の倍数であることを証明していますが、 $n+3$ や $4n+12$ が自然数であることに触れていない解答が多くかったです。証明を終えるまでにどのような事柄を述べなければいけないのかを考え、記述できるようにしていきましょう。

これから入試に向けて過去問を解いていくことになりますが、苦手な部分については早めに復習し、改善できるようにしましょう。

生徒質問紙調査 ~質問紙調査から読み取れる、本校生徒の傾向をいくつか紹介します~

- ・「学校に行くのは楽しいと思いますか」という質問には大変多くの生徒が当てはると回答し、全国平均を大きく上回りました。1年生のときから温かい雰囲気の中で落ち着いて学校生活を送ったり、のびのびと自分の考えを表現したりできる傾向にあると思われます。
- ・「人が困っているときは進んで助けていますか」や「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」の問い合わせにおいて、あてはると回答した人が全国よりも高かったです。教科の授業だけでなく総合的な学習の時間や道徳の時間、学校行事や生徒会行事などでも、互いに協力しながら交流をすることの楽しさや達成感を感じる経験を積み重ねてきました。こういったことが、自己肯定感や誰かの役に立ちたいという思いを高めることにつながっているのではと思います。
- ・授業に関する質問では、「相手の考えを最後まで聞き、受け止めている」「自分の考えがうまく伝わるよう工夫して発表している」「各教科で学んだことを活かしながら、自分の考えをもとに新しいものを作り出そうとしている」と答えた生徒の割合が全国平均より高いです。授業に主体的に向き合う姿勢の表れだと考えられます。
- ・「携帯電話・スマートフォンやコンピューターの使い方について、家人と約束したことを守っているか」という質問において、きちんと守っていると回答した生徒が全国平均を上回りました。ご家庭できちんと話込みをしていただいていることが分かります。一方で、携帯電話などの所持率も全国平均を上回っておりまます。引き続きご家庭での指導もよろしくお願ひします。

全体を通して本校の成果と課題

本校では「実社会に生かせる課題解決力と、人と交わるコミュニケーション力をもち、自分の未来を創造する生徒を育てる」という学校教育目標のもと、日々の授業を基本とし、学力向上のため「主体的・対話的で深い学びをめざした授業に取り組んでいます。

本校の3年生の解答の状況を見ますと、最後まであきらめずに解答を導き出そうと努力した人が多かったようで無回答の生徒は少なく、簡単にあきらめてしまった人はほとんどいませんでした。自分の力を試してみる調査なので、あきらめずに取り組む姿勢は大切です。

これを裏付けるように、生徒質問紙においても「難しいことにでも失敗を恐れないで挑戦する」生徒は全国平均よりも高いです。授業中にも、少し難しい問題ほど熱中して解いています。このような粘り強さと向上心は3年生のとてもいいところです。ただ、考えるテーマに苦手意識があつたり解決への見通しが持てないときなどには、取り掛りに時間がかかることがあります。はじめは苦手でも、物おじせずに取り組み始めることで視野が広がっていくこともあります。あと半年の中学校生活ですが、進路実現も見据えてみんなで明日を切り拓いていきましょう。

<保護者の皆様へ>

全国調査は、子どもたちの課題をつかみ、各校でその改善策を考えていくためのものです。本校では、毎年調査結果を受け、教科指導についての研修をかさね、本校の課題解決に取り組んでいます。

また、生徒それぞれに個票として調査結果を返却いたします。それをご覧いただき、自分自身の課題を見つけ、その克服のために、ご家庭でお子たちと話し合われることが大切です。今後とも、子どもたちの健やかな育ちと学びのためにご協力をよろしくお願ひいたします。